

■標準施工工程

工 程	材 料 名	割合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	タイル張り仕上げ壁面の劣化・破損箇所は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『建築改修工事監理指針 令和4年版（上巻）』（一般財団法人／建築保全センター編集・発行）4 節 タイル張り仕上げ外壁の改修に準じて改修して下さい。タイル部分張替え工法、目地ひび割れ改修工法、樹脂注入工法、Uカットシール材充填工法、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法などの工法を適切に選定し、改修して下さい。						
洗 淨	汚染物質を洗浄し、十分に乾燥させる。						

■吸水防止工法

1.上塗り	コンフィクス SM-7P	12kg	0.2～0.3kg/m ² 40～60m ² /缶	2	3時間 以上	—	中毛ローラー エアレス
-------	--------------	------	--	---	-----------	---	----------------

■表面保護工法

1.下塗り	ダイヤビフレッシュ タイルクリヤー（艶有り） A液（基 材） B液（硬化剤） ダイヤシンナー-PS	14kg 2kg 0～5 ¹ / ₂ ℓ	0.1～0.15kg/m ² 107～160m ² /缶	1	—	3～48 時間	中毛ローラー エアレス
2.上塗り	ダイヤビフレッシュ タイルクリヤー（艶有り、艶消し） A液（基 材） B液（硬化剤） ダイヤシンナー-PS	14kg 2kg 0～5 ¹ / ₂ ℓ	0.1～0.15kg/m ² 107～160m ² /缶	1	—	—	

■吸水防止表面保護工法

1.下塗り	コンフィクス SM-7P	12kg	0.1～0.15kg/m ² 80～120m ² /缶	1	—	16時間 以上	中毛ローラー エアレス
2.中塗り	ダイヤビフレッシュ タイルクリヤー（艶有り） A液（基 材） B液（硬化剤） ダイヤシンナー-PS	14kg 2kg 0～5 ¹ / ₂ ℓ	0.1～0.15kg/m ² 107～160m ² /缶	1	—	3～48 時間	
3.上塗り	ダイヤビフレッシュ タイルクリヤー（艶有り、艶消し） A液（基 材） B液（硬化剤） ダイヤシンナー-PS	14kg 2kg 0～5 ¹ / ₂ ℓ	0.1～0.15kg/m ² 107～160m ² /缶	1	—	—	



■適用下地 磁器タイル 陶器タイル壁面

レンガタイルのような吸い込みの大きいタイルへ施工する場合は、
最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。

■包装単位

コンフィクス SM-7P 12kg缶

ダイヤビフレッシュタイルクリヤー..... 16kgセット（A液：14kg缶、B液： 2 kg缶）

ダイヤビフレッシュタイルクリヤー艶消し..... 16kgセット（A液：14kg缶、B液： 2 kg缶）

ダイヤシンナー P S 16¹/₂ℓ缶

■施工・保管上の注意点

- 【塗装面の調整（新設）】
①素地に付着している塵、汚れ、油類、レタンス等を完全に除去して下さい。
②セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
1)窓框、木コン、破損箇所、不陸などは、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
2)表面が緻密でレタンス層がある場合は、レタンスを除去し、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
【塗装面の調整（新設・改修共通）】
①屋上防水、目地排水管などの水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
【塗装面の調整（改修）】
①各現場の改修仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。
②顔料層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧水洗浄で除去して下さい。
④離型剤、油剤等が付着している場合、シンナーで拭き取って下さい。
⑤エポキシ（白濁）、レタンスは、ワイヤブラシ、サンドペーパー、サンダー等でけずり落として下さい。又、エポキシが固着して除去するの困難な場合には、予め表面に散らす乾水（圧力0.1N程度の高圧水を）を、表面を軽く拭き、ただちに水洗いして下さい。脱洗いをする場合は梅雨期等の湿度の高い時期は控えて下さい。
⑥タイル張り仕上げ壁面の劣化・破損箇所は、タイル部分張替え工法、目地ひび割れ改修工法、樹脂注入工法、Uカットシール材充填工法、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法などの工法を適切に選定し、補修して下さい。
⑦タイル洗浄
1)タイル洗浄剤による洗浄
油汚れ、排気ガス汚れ、及び析出・固着したシリカ分やカルシウム分を市販のタイル洗浄剤を用いて洗浄して下さい。
タイル洗浄剤の選定に際しては、テスト洗いをを行い、タイル表面の傷みや洗浄効果をよく確認してから選定して下さい。
推奨タイル洗浄剤
・中性洗浄剤（塩酸水溶液は5%以内）
・油性汚染を界面活性剤で除去するタイプ）
・バイオ洗浄剤（排気ガス、油性汚染を酵素で除去するタイプ）
注1)フッ酸及びフッ化フッ素系洗浄剤は、仕上げ材の密着性不良の原因となりますので、使用しないで下さい。
注2)タイルの種類（釉施タイル、無釉タイル）により洗浄剤の種類が異なりますので、専門業者あるいは洗浄剤メーカーに問い合わせして下さい。
タイル洗浄剤は、一般的に「医薬用外劇物」である場合が多いので、取り扱いには十分注意して下さい。専門業者に委ねられるか、あるいは洗浄剤メーカーの技術資料や施工マニュアルをよくお読み下さい。
2)高圧洗浄（温水洗浄を含む）
全面150 kgf/cm²以上の水圧で高圧洗浄して下さい。なお、水洗後は塗装下地、特に目地部を十分に乾燥させてから次の工程に移して下さい。
【材料の保管・管理】
①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
③下記の製品は危険物ですので、大気や機具に十分注意して下さい。
コンフィクスSM-7P、ビフレッシュタイルクリヤー、シンナー-PS
④空気中の水分と反応しますので一度開封した塗料は、長期保存が出来ません。ご注意ください。
- 【施工】
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業中に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）を避けて下さい。
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
③材料は付着乾燥しますと取れませんので、完全に養生して下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと残りが残りバリとなります。
④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により変質を生じます。
⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
⑦施工にあたっては、同一方法で、入隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。⑨本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
⑮フッ素や無機酸などの難燃塗装後処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
⑯可保時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
⑱下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
⑲シーラーと上塗りの混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
⑳上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
㉑既存塗膜の劣化が強い場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後にはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
【安全衛生上の注意】
①取扱いには、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
②取扱い後は、手洗い及び口内をすすぎに行ってください。
③子供の手の届かない所に保管して下さい。
④作業中・作業後は十分換気を行ってください。
⑤廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑧中身を傾け切った容器は捨て下さい。
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
①その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認下さい。
③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート（SDS）をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは
日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



（'25.10月現在）'25.10. 500 SJ

外壁張りタイル塗り替えシステム

ビフレッシュタイル工法



タイルの現況に応じて 的確な改修システムを選択できます。

耐候性・耐久性はもとより、陶磁器独特のテクスチャーや

洗練された持ち味が人気を集める張りタイル外壁仕上げ。

しかし、いかに高性能のタイルといえども、メンテナンスは必要。

とくに都市部では、車の排気ガス、紫外線、酸性雨といった、

タイルやタイル目地を痛めつける厳しい条件にあふれ、

定期的かつ効率的な張りタイル改修が望まれています。

そこで、“ビフレッシュタイル工法”———。

“ビフレッシュタイル工法”は痛めつけられたタイルと

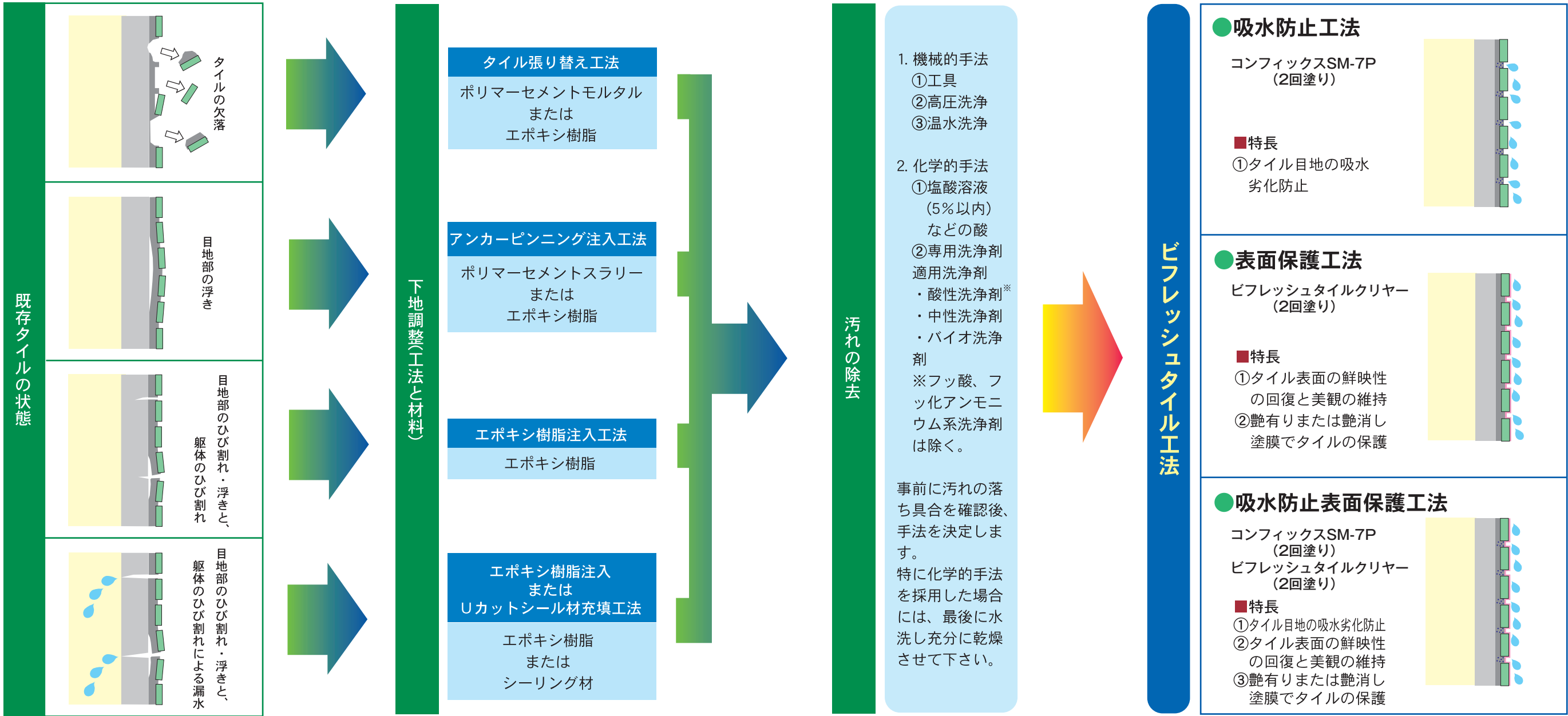
目地部の劣化要因を把握し、

的確に甦らせるだけでなく躯体保護と再生した美観を永く保つ、

高機能タイル改修工法です。



劣化状況に応じて3タイプの改修工法を用意しています。



吸水防止工法

タイルの痛みがひどくない場合は、洗浄後、浸透性吸水防止材「コンフィックスSM-7P」を2回塗布することにより、目地部にヘアークラックが存在しても目地部からの雨水の浸入を防止します。

表面保護工法

洗浄後、シーラーのいない低汚染アクリルシリコン樹脂クリヤー「ダイヤビフレッシュタイルクリヤー」を2回塗布することにより、張りタイル及び目地部の表面を保護します。

吸水防止表面保護工法

洗浄後、浸透性吸水防止材と低汚染アクリルシリコン樹脂クリヤーのダブル効果で、長期防水と高耐候性を発揮。美観を維持するだけでなく、張りタイルと目地部の表面を長期間保護します。

高機能材料を採用して工期短縮の工法を実現しました。

シラン系浸透形吸水防止材

コンフィックスSM-7P

F☆☆☆☆

コンフィックスSM-7Pは、特殊シラン系化合物を主成分とした浸透形吸水防止材です。コンクリート、モルタル、レンガ等の無機質構造材に処理することにより、躯体中の湿気や水分と反応し活性化すると同時に、構造材の成分と結合して固化し、美観を損うことなく構造物に防水層を形成する反応性の保護材です。

■特長

- 極めてすぐれた浸透性を持っています。
- 雨水等の外部からの水の侵入を防ぎます。
- すぐれた通気性を持っています。
- 耐久性にすぐれた保護層を形成します。
- 現状の外観を損うことなく仕上がります。

セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料

ダイヤビフレッシュタイルクリヤー

F☆☆☆☆

ダイヤビフレッシュタイルクリヤーは、強固なシロキサン結合により耐候性・耐汚染性などにすぐれたセラミックハイブリッドシリコン樹脂塗料です。セラミックハイブリッド樹脂の生み出す緻密で強靱な塗膜は、紫外線、大気汚染、太陽熱、風雨などによる劣化を寄せつけず、タイル面を長期間保護します。

■特長

- セラミックハイブリッド樹脂は、セラミック成分を特殊ポリマー中に組み込むことにより、耐候性と低汚染性の両機能に優れた強靱な塗膜を形成します。
- シーラー不要で経済的です。
- 適度な親水性塗膜で、降雨によりセルフクリーニング。
- 艶有りと艶消しの2タイプを用意しています。

●ビフレッシュタイル工法の目地吸水試験結果

